

PLATINUM THERMO
プラチナサーモ

SN-3400
メモリ機能付白金デジタル温度

取扱説明書



株式会社 熱研

東京・大阪・埼玉

<http://www.netsuken.jp>

本社 東京都台東区元浅草3-19-9 〒111-0041
TEL 03-3845-1511 FAX 03-3845-1550



株式会社 熱研

東京・大阪・埼玉

<http://www.netsuken.jp>

本書の構成と説明

	ページ
安全上のご注意 1 ~ 2
第1章 概要 3 ~ 6
本器の概要と特長、または本器の各部名称とその機能について説明してあります。	
第2章 仕様 7
製品仕様について説明してあります。	
第3章 測定を始める前に 8 ~ 10
電源の準備、センサ接続等について説明してあります。	
第4章 測定 11 ~ 18
測定方法について説明してあります。	
第5章 センサ(オプション) 19
温度センサについて説明してあります。	
第6章 防水性能について 20
防水性能について説明してあります。	
第7章 保守・サービス 21 ~ 23
お手入れ、アフターサービスについて説明してあります。	

はじめに

このたびは、SN3400プラチナサーモをご選定頂き誠にありがとうございます。

この製品を十分に活用頂き、末永くご使用頂く為にも、取扱説明書はていねいに扱い、いつも手元に置いてご使用ください。

点検

本器がお手元に届きましたら、輸送中において異常または破損がないか、点検してからご使用ください。特に付属品及びパネル面のスイッチ、端子類に注意してください。

万一、破損あるいは仕様どおり作動しない場合は、お買上げ店か最寄の営業所にご連絡ください。


付属品

単三乾電池	2
ストラップバンド	1
取扱説明書	1

輸送上の注意


本器を輸送する場合、最初にお届けした梱包材料をご使用ください。

安全について



 警告	この機器はIEC61010-1安全規格に従って設計され、試験し、安全な状態で出荷されています。測定方法を間違えると、人身事故や機器の故障につながる可能性がありますので、取扱説明書を熟読し、十分に内容を理解してから操作してください。
---	---

安全記号

この取扱説明書には本器を安全に操作し、安全な状態に保つのに要する情報や注意事項が記載されています。本器を使用する前に、下記の安全に関する事項をよくお読みください。


	使用者は、この取扱説明書の中の△マークのあるところは必ず読み、注意する必要がある事を示します。
---	---


マークの表示と意味

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
注記	製品性能および操作上でのアドバイスのことを意味します。

ご使用にあたっての注意

本器を安全にご使用頂き、機能を十二分に活用頂く為に、次に挙げる注意事項をお守りください。

 注意	<p>・本器は白金センサ(Pt1000)のみ使用可能です。他のセンサを接続したりセンサ端子から電圧信号を入力しないでください。本器を破損することがあります。また、本体の使用環境は使用温湿度範囲0～50℃、80%RH以下(結露しないこと)です。温度センサの使用温度範囲については、各センサの仕様に従ってください。</p>
--	---

 注意	<p>・本器の防水性はJIS C 0920「保護等級5」(IPX5相当)に適合しております。「保護等級5」とは防噴流形と呼ばれ、いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない構造のものを意味しています。従いまして、本器は水の中でご使用または水洗いはできませんのでご注意ください。</p> <p>・本器の損傷を防ぐ為、運搬および取扱いの際は振動、衝撃を避けてください。特に、落下などによる衝撃に注意してください。本器を破損します。</p>
--	---

第1章 概要

1.1 製品概要

本製品は機能性と操作性を両立させる為、カスタムLSIと大型液晶を開発・搭載。ホールド、最大/最小値、メモリ機能、温度補正機能、キーロックなどさまざまな機能を搭載。必要に応じてパソコンへ記録データを送れます。しかも測定値は文字高18mmの液晶画面に表示し、動作中の機能は絵や文字で表示するので欲しい情報をひと目で確認することができます。バッテリーアラームも4段階で表示長時間運用できて経済的です。

センサは白金測温抵抗体(Pt1000)にて精度を追及し、A級センサを採用しました。

食品業界から理化学まで広い範囲でご使用頂けます。本体は水まわりや湿気、油などの多い厨房でも安心してご使用頂ける防水型温度計です。

〔JIS C 0920「保護等級5」(防噴流形)適合〕

センサコネクタも防水タイプ、ワンタッチロック方式の安心設計です。また、温度測定対象に合わせて最適なセンサが選べるよう各種用意しています。

1.2 特長

①見やすい表示

・文字高18mmと視認性に優れています。

②簡単操作、親切設計

- ・センサコネクタも防水タイプのワンタッチロック方式を採用。
- ・大型液晶ディスプレイでひと目で確認。
- ・ホールド、最高/最低値、電池残量、メモリー数、オートパワーオフ、時計、温度補正、ブザー機能と欲しい情報がひと目でわかります。

③精度抜群

-50.0°C~200.0°C測定時に本体 ±0.3°C+センサ精度(クラスA級: ±0.15+0.002|t|)と、抜群の精度。
※温度計の総合精度は『本体精度+温度センサ許容差』となります。

④温度補正機能搭載

補正值(0~±2.0°C)を確定し、指示温度を設定すると、常に正しい温度管理を可能にします。

⑤作業性抜群

本体は160g(電池含)と軽く、センサの取っ手もPCを採用、軽く手になじむ形状になっているので、長時間の作業でも疲れません。

⑥丈夫で長持ちします

センサの取っ手は角ばっており、転がっての落下を防止の安心設計です。

⑦防水性能

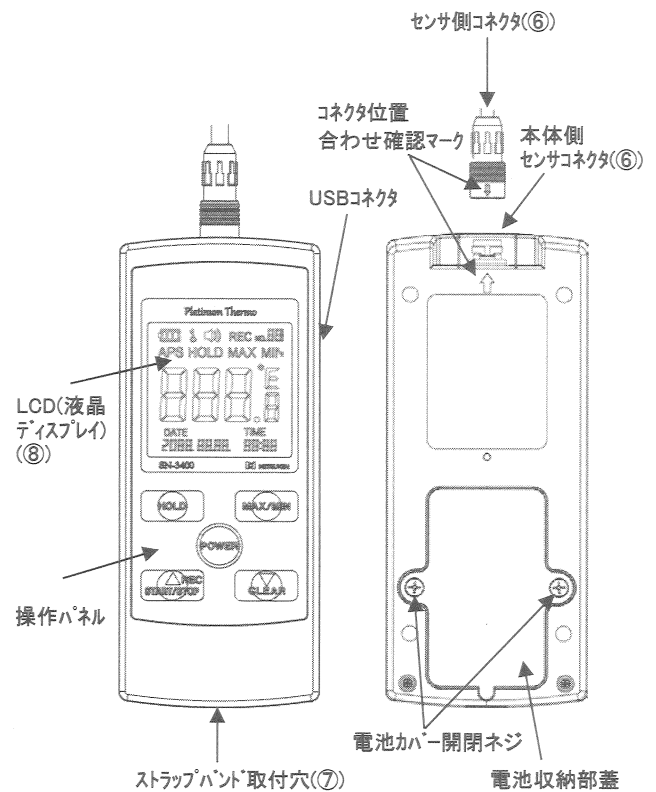
防水構造(IPX5)により、水が掛かっても大丈夫。

⑧USBコネクタ装備(Micro-B規格)

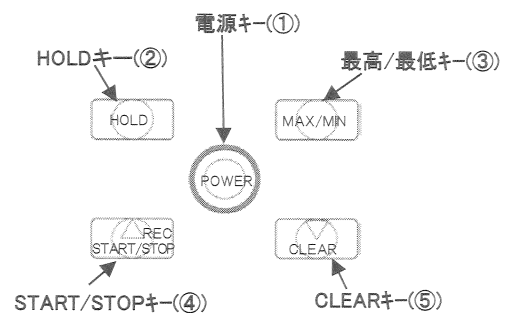
USB通信ケーブル(市販)にて記録データをパソコンへ転送する事が出来ます。ソフトウェアは弊社Webサイトからダウンロードしてお使いください。
当製品にUSB2.0ケーブルは付属しておりません。

1.3 各部の名称と機能

・本体



・操作パネル部



第2章 仕様

2.1 本体仕様

①POWERキー

本体の電源をON/OFFします。

②HOLDキー

測定値をホールドします。

③MAX/MINキー

最高温度/最低温度を表示します。

④START/STOP (REC) キー

メモリ記録の動作開始、停止を行います。
(メモリの手動記録を行います)

⑤CLEARキー

表示しているメモリデータを消去します。
全メモリデータを消去します。

⑥コネクタ




温度センサを本体と接続します。
センサと接続してある場合に、防水機能が有効となります。

⑦ストラップバンド取り付け穴

付属のストラップのひもを通します。

⑧LCD(液晶ディスプレイ)

測定値および設定内容などの各種情報を表示します。

- ・ ……小数点
- HOLD ……ホールド機能動作時に点灯
- MAX ……最高値表示時に点灯
- MIN ……最低値表示時に点灯
- APS ……オートパワーオフ時に点灯
- REC ……メモリ内容確認時表示(点灯)
……メモリ機能動作時表示(点滅)
- No. × × ……メモリカウント表示(内容確認時点灯)
……メモリカウント表示(記録動作時点滅)
- DATE ……年月日を表示
- TIME ……時間を表示
- °C ……温度単位、摂氏温度
-  ……ローバッテリーマーク
新しい乾電池と交換してください。
-  ……キーロックがON時表示
-  ……操作時ブザーがON時表示

入力点数 : 1点

入力種類 : 白金測温抵抗体 Pt1000 [3線式]

接続方法 : 専用コネクタ

測定範囲 : $-100.0^{\circ}\text{C} \sim +400.0^{\circ}\text{C}$

表示分解能 : 0.1°C

本体精度 : $-50.0^{\circ}\text{C} \sim +200.0^{\circ}\text{C} / \pm 0.3$

$-100.0^{\circ}\text{C} \sim -50.1^{\circ}\text{C} / \pm 0.8$

$+200.1^{\circ}\text{C} \sim +400.0^{\circ}\text{C} / \pm 0.8$

測定周期 : 0.5秒

温度記録機能 : 手動記録・自動記録(99個)

表示機能 : MAX/MIN、ホールド、バッテリー状況表示、温度補正、時計、ブザー、キーロック、オートパワーオフ、データ出力

USB接続機能 : USBコネクタ(Micro-B規格)

電源 : 単3形アルカリ乾電池 2本

保護構造 : IPX5(防噴流形)

使用環境 : 周囲温度 $0 \sim +50^{\circ}\text{C}$

周囲湿度 $20 \sim 80\% \text{RH}$ 以下(結露なきこと)

高度2000m以下、屋内

保存環境 : 周囲温度 $-10 \sim +50^{\circ}\text{C}$

周囲湿度 $20 \sim 80\% \text{RH}$ 以下(結露なきこと)

本体寸法 : $64(\text{W}) \times 154(\text{H}) \times 26(\text{D}) \text{mm}$

(突起物およびセンサ含まず)

質量 : 約160g(電池含む)

付属品 : 単3形乾電池、取扱説明書

ネックストラップ

※USBケーブル・ソフトウェアは付属していません

2.2 適合規格

白金測温抵抗体 : DIN EN 60751, CLASS A

水の浸入に対する保護等級(防水コネクタ-センサ使用時)

: JIS C 0920:2003 IPX5(防噴流形)

第3章 測定を始める前に

3.1 電源の準備

警告

- ・電池交換は、感電事故を避ける為、本体の電源がOFFになっていることを確認してから行なってください。また、交換後は必ず電池カバーを閉めて使用してください。
- ・電池交換をする時は、新旧および異種の混合はしないで、極性(+)に注意して電池を入れてください。使用済の電池をショート、分解、火の中に投入しないでください。破裂する恐れがあり危険です。
- ・使用済の電池は指定された場所に種別に従い処分してください。

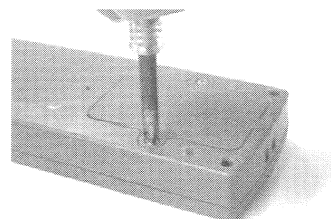
注意

- ・電池交換の際には、電池カバーを外します。プラスネジ2本で固定してありますので、外した時になくさないように注意してください。
- ・電池交換等で電池カバーを外した場合はパッキンを確実に取り付けてあることを確認してから閉めてください。パッキンが確実に取り付けられてない場合は、防水構造が保てず内部に水が浸入して本器破損の原因となります。
- ・長い間ご使用にならない時は、電池の液漏れによる腐食を防ぐ為に、電池を抜いて保管してください。

3.2 電池のセット・交換

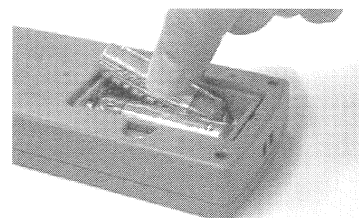
電池交換前に…必ず本体の電源がOFFの状態にしてください。また、電池交換作業は、1分以内に行わないと、最低・最高値・時計データがリセットされてしまいます。

- ①電池カバーのプラスネジ2本をドライバー(No.2)で反時計回りに回して電池カバーを外してください。



- ②電池交換の場合は古い単3乾電池2本を取り出してください。

- ③電池収納部に彫刻してある電池の向き(+の極性を合わせる)に注意して新品の単3乾電池をセットしてください。



- ④プラスドライバーで、電池カバーを取り外した時と反対の手順で電池カバーを取り付け、その後本体と電池カバーとの高さが一定になっている事を確認してください。電池カバーが傾いて固定された場合は、防水性が悪化します。

- ⑤日付及び時間の確認・設定をおこなってください。

注記

表示部に マークが表示した場合は速やかに新しい電池と交換してください。そのままご使用を続けると、測定精度に影響が出たり、誤動作する恐れがあります。

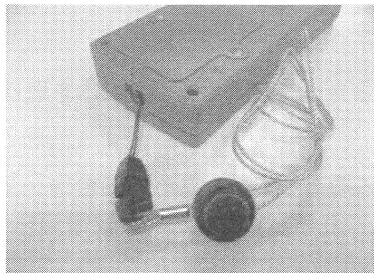
3.3 温度センサの接続



注意

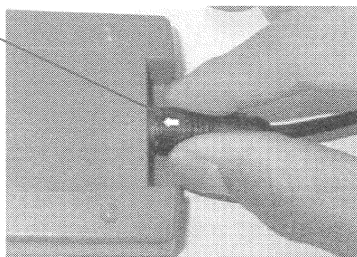
- ・SN-3400-01 SN-3400-02 形 温度センサは先端がとがっており危険です。けがのないよう、取り扱いには十分注意してください。
- ・センサは、断線による故障を防ぐ為、折ったり引っ張ったりせず、取扱いには注意してください。

① 使い方に応じてネックストラップを装着してご使用ください。



② 本体に付属しているセンサプローブを接続してください。

カップリング(可動部分)



③ センサプラグは防水コネクタを使用しています。センサ側コネクタの▲印を本体側コネクタの▲印と合わせてカチッと音がするまで挿入してください。

④ センサを取外す場合は、コネクタのカップリング部分を持ち、真っ直ぐに引き抜きます。

注記

コネクタを抜差しする場合は、絶対にコネクタを回さないでください。故障の原因となります。

第4章 測定

4.1 電源のON/OFF 『POWER』キー

・電源のON

POWERキーを2秒以上押します。

補正機能・メモリ機能の設定により電源投入時の表示は異なります。

各機能OFF時	全点灯表示→温度測定値表示し測定可能状態へ。
補正機能ON時	全点灯表示→"oFSt"表示→補正温度値表示→補正設定温度表示→温度測定値表示し測定可能状態へ。
メモリ機能ON時	全点灯表示→"rEC"表示→メモリ設定表示→しきい値表示MAX/MIN(表示なし又は1項目か2項目表示)→温度測定値表示し測定可能状態へ。
補正機能メモリ機能ON時	全点灯表示→各補正機能表示→各メモリ設定機能表示→温度測定値表示し測定可能状態へ。

・電源のOFF

POWERキーを2秒以上押すと表示が消え、電源が切断されます。

4.2 表示ホールド 『HOLD』キー

LCD表示部に『HOLD』マークが表示され、キー操作した時点の表示値をホールドします。ホールドを解除する場合は、再び『HOLD』キーを押します。

※HOLDを長押しすると、メモリ機能が動作時は記録内容を表示させます。

4.3 最高最低値 『MAX/MIN』キー

このキーを押すとメイン表示部に、最高値『MAX』が表示されます。再度キーを押すと最低値『MIN』が表示され、再度キーを押すと通常表示となります。

4.4 記録のクリア『CLEAR』キー

最高又は最低値を表示時にこのキーを押すと記録がクリアされます。

メモリデータが表示されている時にこのキーを長押しすると、表示が点滅し再度このキーを押すと表示されているデータが消去されます。

<全メモリデータの消去>

本体の電源がOFFの状態、このキーを押しながら電源を入れると、“CLEA”“ALL”を交互に表示します。再度このキーを押すとすべてのデータが消去され、通常温度測定画面になります。

4.5 メモリ機能『START/STOP』キー

メモリ機能を使用する時このキーを長押しすると、記録可能状態となります。

記録可能状態で再度このキーを長押しすると通常の温度測定画面に戻ります。

メモリ機能には、手動記録と自動記録の方法があります。(設定画面にて設定)

4.6 オートパワーオフ機能

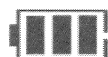
電源を入れた時から指定した時間が経過すると自動的に電源がOFFして電池の消耗を防ぎます。

設定は、OFF・30分・60分・120分が可能です。

(設定画面にて設定)

4.7 電池消耗表示

内臓電池の残量を4段階のレベルで表示します。



電池容量有り



電池容量減少



電池容量なし(速やかに電池交換)

注記

電池交換は1分以内に交換しないと最低・最高値・時計データがリセットされます。

4.8 測定範囲を超えた場合

測定温度が本器の下記の測定範囲を超えた場合

+400.0以上の時・・・『400.0』が点滅

-100.0以下の時・・・『-100.0』が点滅

4.9 温度補正

温度計本体及びセンサの持っている温度許容差を補正する機能で、検温槽又は基準温度計と比較しその温度差を設定する事で特定の温度帯で誤差の少ない測定が可能です。

※温度補正を行う場合は、規定値(基準値)となる温度を計測する必要があります。

4.10 手動記録

項目設定にて手動記録を指定した場合に随時温度の記録ができます。

『SRART/STOP』を長押しすると、RECと記録回数が点滅し以降『REC』を押す毎に記録されます。

再度『START/STOP』を長押しすると解除されます。

4.11 自動記録

項目設定にて自動記録を指定した場合に、しきい値の温度を超えて(下回って)5秒以内での最高値(最低値)及び、両方の温度を記録します。

『SRART/STOP』を長押しすると、RECと記録回数MAX(最高値)か、MIN(最低値)又は両方が点滅し以降自動的に記録されます。

再度『START/STOP』を長押しすると解除されます。

4.12 記録の確認

『HOLD』キーを長押しすると、RECと記録回数が表示し、記録日時及び温度(自動記録時はMAX/MINも)が表示されます。

表示される記録は△及び▽で変更できます。

『HOLD』キーを長押しすると通常状態となります。

4.13 USB接続

USB接続で記録データをパソコンへ転送できます。

詳しくは、弊社Webサイトにてご確認ください。

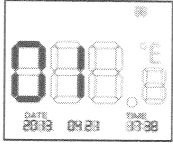
各項目の設定

本体の電源がオフの状態、『START/STOP』と『CLEAR』を押しながら『POWER』を押し、全表示となったら『MAX/MIN』を2回おすと設定画面が表示されます。

設定項目は△か▽にて各設定項目(番号)を表示させ、『HOLD』にて設定画面へ移行します。

終了は『MAX/MIN』を2回押します。

① 日時の設定



設定画面が表示されると最初に01の日時設定画面が表示されます。

DATEとTIMEが点滅します。

ここで『HOLD』を押すと年→月→日→時→分→点灯→01表示と移行しますので、各項目を△か▽で数字を変更させて設定してください。

② オートパワーオフ設定



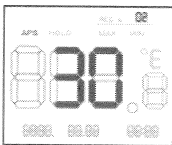
△か▽で02のオートパワーオフ設定画面を表示させます。

APSが点滅します。

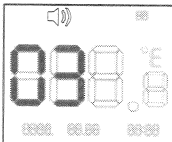
ここで『HOLD』を押すと現在の設定が表示されますので、△か▽で時間を設定してください。

0(オフ)・30(30分)・60(60分)・120(120分)

例 30分



③ ブザー音設定

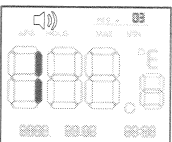


△か▽で03のブザー音設定画面を表示させます。

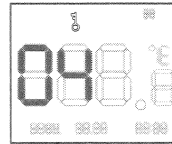
ブザー音が点滅します。

ここで『HOLD』を押すとブザー音の設定が表示されますので、△か▽で設定してください。

0(オフ)・1(オン)



④ キーロック設定



△か▽で04のキーロック設定画面を表示させます。

🔒が点滅します。

ここで『HOLD』を押すと"0"と表示されます。

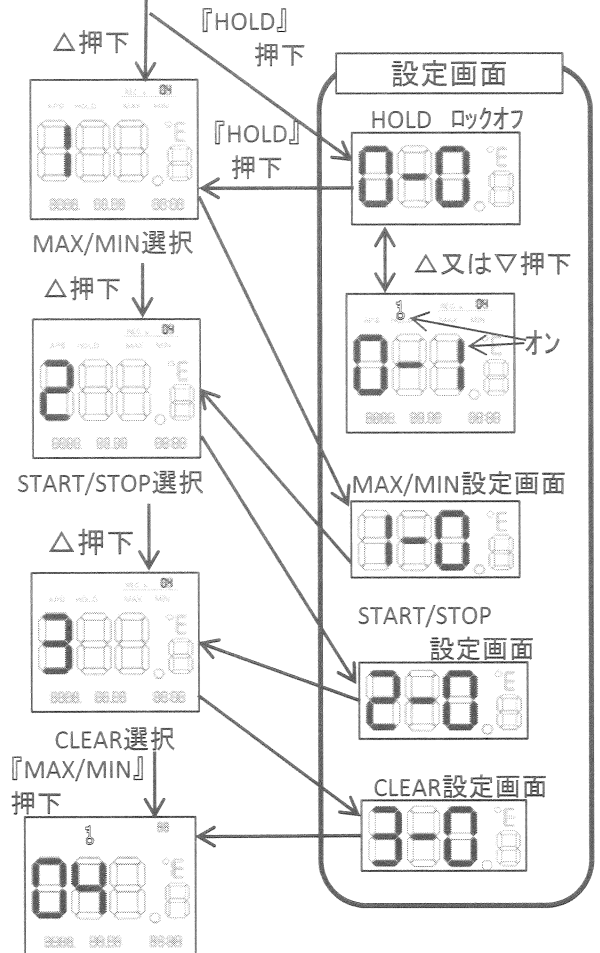
0は『HOLD』

1は『MAX/MIN』

2は『START/STOP』

3は『CLEAR』

各キーは△か▽で選択します。

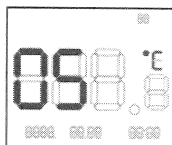


キーロックする番号を表示させたら『HOLD』を押すと設定が表示されますので、△か▽で設定してください。0(オフ)・1(オン)

設定したら『HOLD』を押して設定を確定し、各キーの指定画面に戻します。

引き続き設定する場合はそのまま行い、終了する場合は『MAX/MIN』を押下し各項目の設定画面へ戻します。3の『CLEAR』を設定した時のみロック設定後『HOLD』にて各項目の設定画面へ戻ります。

⑤ 温度補正



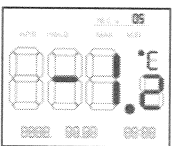
△か▽で05の温度補正設定画面を表示させます。

°Cが点滅します。

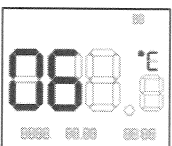
ここで『HOLD』を押すと現在の設定が表示(点滅)されますので、△か▽で補正値を設定してください。

0.0(オフ)～±2.0まで設定できます。設定後『HOLD』にて確定し(点灯表示)、再度『HOLD』で自動的に次の補正設定温度の設定画面となります。

例 -1.2°C補正



⑥ 補正設定温度



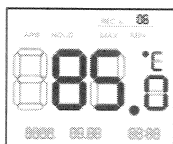
△か▽で06の補正設定温度画面を表示させます。

°Cが点滅します。

ここで『HOLD』を押すと現在の設定(点滅)が表示されますので、△か▽で温度を設定してください。

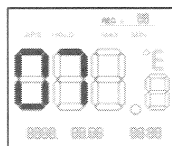
設定後『HOLD』にて確定し(点灯表示)、再度『HOLD』にて各項目の設定画面へ戻ります。

例 85°Cで補正



※検温層で基準温度計と比較した時の温度をここで入力します。(通常この温度計で使用する温度と同じにします。)

⑦ 温度記録方法



△か▽で07の温度記録方法画面を表示させます。

RECが点滅します。

ここで『HOLD』を押すと現在の設定が表示されますので、△か▽で記録方法を設定してください。

『0』は記録なし

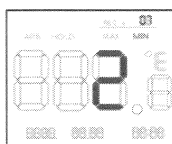
『1』は手動記録

『2』は下限自動記録(MIN表示)

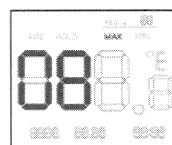
『3』は上限自動記録(MAX表示)

『4』は上下限自動記録(MAX/MIN表示)

例 下限自動
記録設定



⑧ 自動記録上限しきい値



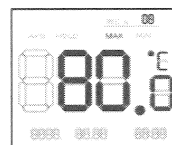
△か▽で08の自動記録上限しきい値を表示させます。

MAXが点滅します。

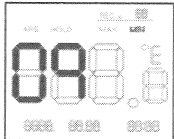
ここで『HOLD』を押すと現在の設定が表示されますので、△か▽で設定してください。

設定後『HOLD』にて確定し、各項目の設定画面又は次のしきい値入力画面へ進みます。

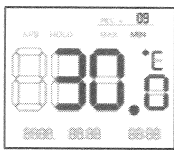
例 上限しきい値



⑨ 自動記録下限しきい値



△か▽で09の自動記録下限しきい値を表示させます。MINが点滅します。



ここで『HOLD』を押すと現在の設定が表示されますので、△か▽で設定してください。

設定後『HOLD』にて確定し、各項目の設定画面へ戻ります。

例 下限しきい値

※しきい値

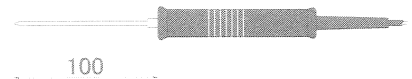
最高値(最低値)の温度を自動で記録する時、このしきい値を超えて(下回って)5秒以内での最高値(最低値)又は、両方の温度を記録します。しきい値を超えない(下回らない)時は、記録されません。

また、温度を記録後は、さらに温度が上昇(下降)しても記録されません。一度しきい値を下回る(超える)と再度機能が働きます。

第5章 センサ(オプション)

センサは使用目的に合わせて、様々な種類のものが用意されております。ご質問がございましたら、本社・大阪営業部へ、お気軽にご相談ください。

①<標準セット品>防水食品用センサ 標準価格 ¥6,000



②液体・半固体耐久型センサ 標準価格 ¥8,000



③防水フライ油用センサ 標準価格 ¥10,000



④空気(冷凍・冷蔵庫用)センサ 標準価格 ¥8,000

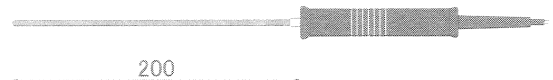


⑤液体・半固体用汎用センサ 標準価格 ¥9,000



⑥防水フッ素加工(酸・アルカリ・耐薬品用)センサ

標準価格 ¥12,000



仕様一覧

	品番	測定範囲	感温部寸法
①	SN-3400-01	-100~+300°C	先トカリ型 3φ×100mm
②	SN-3400-02	-100~+400°C	先トカリ型 先端3φ、根元4φ 全長120mm
③	SN-3400-03	-100~+400°C	先丸型 4φ×410mm
④	SN-3400-04	-100~+100°C	先丸型 4φ×40mm
⑤	SN-3400-05	-100~+400°C	先丸型 4φ×200mm
⑥	SN-3400-06	-100~+260°C	先丸型 4.6φ×200mm

※共通仕様・・・白金抵抗体Pt1000ΩA級・コード長1m

第6章 防水性能について

この製品の防水構造は「保護等級5」(IP×5相当)に適合しています。

⚠ 注意




以下の場合にはケース内部に水が浸入する可能性があります。内部に水が浸入すると、記録データが消えたり、故障の原因となります。以下の原因で浸水した場合は、保証適用除外事項となります。

1. 本体を水洗いした場合。
2. 水に濡れた状態で、大きな温度変化を受けた場合。
3. ゴムパッキンやパッキンをはめる際に、ゴミ・ほこり・髪の毛等が付いた状態でケースを閉じた場合。
4. ゴムパッキンに傷がある場合。

JISの水に対する保護等級(参考)

等級	呼称	保護の程度	
0	なし	特に保護なし	水の浸入に対して、特に保護されていない。

⋮

3	防雨形	降雨に対する保護 	鉛直から60度以内からの降雨によって有害な影響を受けない。
4	防沫形	飛沫に対する保護 	いかなる方向からの水の飛沫によっても、有害な影響を受けない。
5	防噴流形	噴流水に対する保護 	いかなる方向からの水の直接噴流によっても、有害な影響を受けない。

第7章 保守・サービス

7.1 お手入れの方法

⚠ 注意

本器の汚れをとる時は、柔らかい布に水か中性洗剤を少量含ませて、軽く拭いてください。ベンジン、アセトン、エーテル、ケトン、シンナー、ガソリン系を含む洗剤は絶対に使用しないでください。変形、変色することがあります。

7.2 正常に動作しない時

症状	原因	対策
電源をONにしても表示しない。	電池が実装されていますか? 電池が消耗していませんか?	電池を入れてください。 新しい電池と交換してください。
温度測定値が表示されない。	温度センサが正しく接続されていますか? センサが断線していませんか?	温度センサを正しく接続してください。 新しいセンサと交換してください。
『oPEn』と表示される。	センサが断線しています。	
『Shot』と表示される。	センサ内線がショートしています。	

上記の対策を行っても正常とならない場合は、お買い上げ店(代理店)か最寄の営業所にご連絡ください。

7.3 保証書・アフターサービスについて

・サービス

故障と思われるときは、電池の消耗、温度センサの断線を確認してから、お買上店(代理店)か最寄りの営業所にご連絡ください。移送の際、輸送中に破損しないよう梱包し、故障内容も書き添えてください。移送中の破損については保証しかねます。

- ・保証書はお買上げの販売店で発行致しますので、所定事項の記入および記載内容を御確認頂き、大切に保管してください。
- ・この保証書は紛失しても再発行致しませんので、大切に保管してください。
- ・保障期間経過後の修理については有料修理となります。また、保障期間外の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または、下記に記載してある本社および八潮センターにお問い合わせください。

サービスネットワーク

東京本社

〒111-0041 東京都台東区元浅草3-19-9
TEL 03-3845-1511 FAX 03-3845-1550

八潮センター

〒340-0811 埼玉県八潮市二丁目1045-5
TEL 048-996-7000 FAX 048-996-8494

大阪営業所

〒552-0016 大阪府大阪市港区三先2-13-30
TEL 06-6573-3658 FAX 06-6573-5213

保証規定

以下は、本製品に関する保証規定を記載しております。ご使用前に必ずお読みください。

- 1.本保証は、本保証規定により、お買上げ頂いてから、1年間のハードウェア(温度計本体)の無償交換もしくは、修理をお約束するものです。
- 2.製品が取扱説明書記載の通常の使用方法により正常に動作しなくなった場合は、弊社の判断で同等品と交換もしくは無償修理いたします。交換の場合は送付された旧製品等はお返しいたしません。
- 3.ただし、次のような場合には、無償での修理・交換はいたしかねます。
 - ①弊社製品と判断できない場合
 - ②火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他転変地異、公害や異常電圧による故障や損傷。
 - ③お買上げ後の輸送、移動時のお取扱いが不適当な為生じた故障や損傷。
 - ④ご使用時の不備あるいは接続している他の機器によって生じた故障や損傷
 - ⑤不当な修理や改造、異常電圧に起因する故障
 - ⑥取扱説明書の記載内容に反するお取扱いによって生じた故障や損傷
 - ⑦弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合
 - ⑧その他交換が認めがたい行為が発見された場合
- 4.お買上げ後1年間を経過したものおよび上記「3.」の項目に該当するものは有償修理となります。また、その場合、弊社が修理不可能と判断した場合は修理をお受けせず、送付された製品をご返却する場合がございます。
- 5.本製品を運用した結果の他の影響については一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 6.本証は日本国内でのみ有効です。また、再発行はいたしません。

保証書

製品名 SN-3400 プラチナサーモ
保証期間(お買上げ日より1年間) 年 月 日 より1年間保証
お客様名
ご住所 〒 -
TEL
販売店・住所・TEL・担当者名・印

本書の再発行は致しませんので、紛失をされないよう大切に管理してください。



株式会社 熱研

本社 東京都台東区元浅草3-19-9 MIビル4F
〒111-0041 TEL 03-3845-1511 FAX 03-3845-1550